

第13回愛知県医療ソーシャルワーク学会

ご案内



大会テーマ

MSWのなすべきこと

～新時代への問いかけ～

開催日時：2018年2月10日（土）

開催場所：名古屋国際会議場

開催概要

開催日時	2018年2月10日(土) 9:30~16:00
開催場所	名古屋国際会議場 2号館 3階
主催	一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会
テーマ	MSWのなすべきこと~新時代への問いかけ~
学会長	小林哲朗 名城病院 愛知県医療ソーシャルワーカー協会会長
学会運営委員長	末藤和正 海南病院 愛知県医療ソーシャルワーカー協会事務局長
学会HP	https://amswgakkai.wixsite.com/13th-amsw

ご案内

【参加手続き】

- 1) 本学会に参加される方は、会員・非会員を問わず参加登録を行って下さい。参加登録は学会ホームページ上でのお申込をお願いします。登録の際は、メールアドレスが必要です。FAXでのお申込は受け付けておりませんのでご了承下さい。
- 2) 事前登録は、**2018年1月15日(月)**までです。
- 3) 会場収容の関係上、定員に達し次第、締切日到達前にお断りすることがございます。あらかじめご了承下さい。
- 4) 事前登録後、順次受けつけた旨のメールを返信します。
- 5) 参加費は、当日の受付にてお支払い下さい。

※申込における個人情報は厳重に管理し適切に処理いたします。

【参加費】

	事前	当日
会員(準・賛助含む)	3,000円	4,000円
各都道府県MSW協会員 愛知県社会福祉士会員 愛知県PSW協会員	3,000円	4,000円
学生	1,000円	1,000円
上記以外の方	5,000円	6,000円

プログラム

午前

9:30~	10:15~10:30	10:30~12:00
受付開始	開会式	基調講演

午後

13:15~14:30	14:45~15:15	15:30~16:00
分科会	協会アナウンス (注)	総評・閉会式

注：協会アナウンスでは、現在の協会の取り組みと将来構想をふまえた運営方針を説明します。来年度から、協会研修に認定社会福祉士・認定医療社会福祉士の単位・履修ポイントを付与する予定としています。

後援（順不同・敬称略）

愛知県/名古屋市/(公社)愛知県医師会/(一社)名古屋市医師会/(一社)愛知県病院協会/(一社)愛知県社会福祉士会/(一社)愛知県精神保健福祉士協会/(公社)愛知県看護協会/(公社)愛知県理学療法士会/(一社)愛知県作業療法士会/愛知県言語聴覚士会/(一社)愛知県老人保健施設協会/(一社)愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会/(一財)名古屋市療養サービス事業団/(社福)愛知県社会福祉協議会/(社福)名古屋市社会福祉協議会/愛知県立大学/愛知淑徳大学/金城学院大学/同朋大学/日本福祉大学/日本福祉大学中央福祉専門学校（予定）

託 児

(公社)全国保育サービス協会の安全基準に基づき、お子様の月齢、人数に応じた保育者を専門業者に依頼し実施します。費用の中には保険分も含まれております。学会に参加しながらお子様の様子を身近に確認できて安心です。ご希望の方は参加申し込みと併せてお申し込みください。

※なお、託児のご利用は愛知県医療ソーシャルワーカー協会会員のみとさせていただきます。

【託児料金】

お子様1人あたり 1,000円 (学会参加費と合わせて受付にてお支払い頂きます)

【託児時間】

9:30～16:30 (受付開始時間より、閉会式終了時以降)

【持ち物】

おもちゃや敷物は準備いたしますが、お子様の昼食、おやつ、月齢に応じてお昼寝用の布団等の準備は各自お願いいたします。

【キャンセルについて】

お子様の健康状態等により託児のキャンセルをされる場合は、下記託児担当までご連絡をお願いいたします。ご連絡がない場合には、キャンセル料が発生することがあります。学会が近づきましたら、改めて託児担当より当日の連絡先・手順等をご連絡させていただきます。ご質問等は、下記担当までお願いいたします。

第13回 愛知県医療ソーシャルワーク学会 託児担当
名古屋市医師会 服部 由佳
Email : uketsuke.amsw@gmail.com

基調講演 10:30~12:00

今後の医療・福祉改革とソーシャルワーカーの役割

講師：二木 立 先生（日本福祉大学相談役・大学院特別任用教授）

【講師略歴】

日本福祉大学相談役・大学院特別任用教授
日本ソーシャルワーク教育学校連盟副会長
日本医師会医療政策会議委員

1972年東京医科歯科大学医学部卒業。東京大学医学部
附属病院リハビリテーション部部員、代々木病院理学診
療科科长、同病院病棟医療部長・救命医療部長、同財団
理事を経て1985年日本福祉大学教授。

同大学院社会福祉学研究科長、同大学社会福祉学部長、
同大学副学長を経て2013年より日本福祉大学学長、
2017年4月より日本福祉大学相談役・大学院特別任用教授。



【資格等】

1972年 医師免許
1983年 東京大学医学博士
2007年 日本福祉大学博士

【主な著書】

2017年 3月 『地域包括ケアと福祉改革』
2015年10月 『地域包括ケアと地域医療連携』
2014年 4月 『安倍政権の医療・社会保障改革』
2013年 4月 『福祉教育はいかにあるべきか—演習方法と論文指導』
2012年 5月 『TPPと医療の産業化』
等多数

【受賞等】

1992年 吉村賞（対象：『現代日本医療の実証分析』）
1999年 社会政策学会奨励賞（対象：『保健・医療・福祉複合体』）
2008年 日本福祉大学総長表彰（対象：『文部科学省21世紀COEプログラム拠点
リーダー』）
2013年 日本医師会優功賞（第66回日本医師会設立記念医学大会）

分科会発表演題 13:15～14:30

発表順は後日、学会ホームページにてご案内します。演題等は当日までに変更される可能性があります。

氏名	所属	演題
浅井桂子	秋田病院	聴覚障害者の退院支援に関する一考察
佐藤隆信	公立陶生病院	糖尿病家族支援パスにおける 医療ソーシャルワーカーの関わり
樋渡貴晴	刈谷豊田総合病院	OneNote を用いた法人内知識共有の試み
小嶋朝子	岡崎東病院	在宅介護スコアを用いた 在宅復帰率向上への取り組みの一考察
大庭ちひろ	豊橋医療センター	緩和ケアにおけるMSWの取り組み ～質の向上に向けて～
西崎依子	豊川さくら病院	地域の中での当院の役割と退院支援 ～栄養摂取手段からの考察～
村上安香音	江南厚生病院	出生届の提出に至らない児への支援に関する一考察
鈴木里奈	豊田厚生病院	アルコール問題を抱える患者への 早期介入について考える

氏名	所属	演題
坂本理恵	名古屋第二 赤十字病院	多職種多機関連携チームにおける MSW の役割を考える ～医療・司法・行政にわたる総合支援なごみの活動から～
大村芳子	名城病院	方向性を決定するまでのプロセスの考察 ～患者の思いの変化に着目した一事例を振り返る～
川上博臣	介護老人保健施設 高須ケアガーデン	通所リハビリにおけるマネジメント II 実施の現状と課題
鈴木千穂	藤田保健衛生 大学病院	小児科病棟におけるソーシャルワーク実践の考察 ～MSW が虐待予防を目的として介入した事例の データ分析と課題～
佐藤顕世	上飯田 リハビリテーション病院	退院支援のあり方の再考察 ～退院後調査を実施して～
清水裕美子	トヨタ記念病院	若手 MSW の退院支援における支援者としての 自己の葛藤に関する一考察
服部名央未	愛知医科大学病院	子どもの出産と 親の介護を控えた妊婦家族へ関わった事例を通して
石野美穂	安城更生病院	当院における終末期心不全患者への緩和ケアと MSWの役割について

2017年11月20日現在

交通案内

地下鉄名城線西高蔵駅または地下鉄名港線日比野駅どちらからも徒歩 5 分



公共交通機関をご利用ください
駐車場有料：700 円/日

【学会運営事務局および問い合わせ先】

愛知医科大学病院 医療福祉相談部 担当：鈴木
〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1
TEL 070-6973-6393